

熊本市中央区の「きものサロン和の國」で「加藤清正の陣羽織」と題する作品展を開催中。県内外からの来場があるという。「地震で傷ついた熊本を励ましたいと、自分なりに考えて企画しました」
実家は同市南区の日吉校区。4月末に帰熊し、実家の無事は確認したが、地盤の液状化などで周囲には大きな被害が広がっていた。「ショックでした」
個展開催は、吉田さ

吉田 美保子さん(48)

個展開催中の
染織作家

談話室



んの作品の愛好者から「何か支援できることはないか」と声を掛けられ、思い付いたという。各地のお客さんに熊本に足を運んでもらい、観光もしてもらおう。それが自分のできる復興支援だ」と。

「陣羽織は身を守るだけではなく、戦場で自らを鼓舞する役目もある。みんなで『プチ清正公』になり、前に進んでいきたいですね」

(中村美弥子)

◇よしだ・みほこ

神奈川県大和市在住。

復興の指揮執る「清正」表現